

〈ハクサイの花〉

暖冬のせいかな、今年はもうハクサイの花が咲きだした。こんなに早く咲きだしたのは今まで記憶にない。あまりの早咲きに驚いているが、もっと驚くのは“エッ？ハクサイに花が咲くの？”と思っている人がたくさんいること。ハクサイだってキャベツだって植物だから花が咲くのは当たり前と、小さい頃から見慣れている者にとっては常識なのだが、スーパーに並んでいる野菜（しかも食べる部分だけ）しか知らない者には驚きなのだろう。



〈ハクサイ〉



〈スティックセニョール〉

ニンジンもゴボウも玉ねぎも収穫しないで放っておけば花が咲くし、サツマイモだってところどころにアサガオのような花を咲かせる（サツマイモはアサガオと同じヒルガオ科）。交配を繰り返し人の手で意図的に作られた野菜だっけれどつきとした植物、子孫を残すためには花を咲かせ実をならせタネをつけようとするのは必然の営み。葉を食べるハクサイ、茎を食べるアスパラ、根を食べるサツマイモ、地下茎を食べるサトイモ、実を食べるキュウリ、そして花蕾（からい）を食べるブロッコリー。食べるのは野菜の成長過程のどこか一部なのでその野菜の一生を見ることはない。でも命をいただき自分の体を作ってくれている野菜の一生

くらいは知っておきたいし知ることでありがたみも増す。その感謝の気持ちは持ち続けていたい。一雨ごとに春が近づき、ハクサイの莖もぐんぐん伸びる。そしたら辛し和えにして食べよう。春の香りがしてメチャクチャうまいのだ！ 久しぶりの農作業に夢中になっていたらいつの間にか日が沈んでいた。大山丹沢の上には真っ赤に染まった雲がドラマチックに蠢いていた。明日は晴れるかな？

